

こもれび学級

自立活動

気持ち認知を育む集団活動

「気持ちのひみつ」

日時	令和元年9月13日(金) 2次公開
場所	こもれび学級1組
児童	こもれび学級 7名(2年生3名・3年生2名・6年生2名)
指導者	関司 美穂(T1) 齊藤 早苗(T2)

1 題材について・児童の実態

(1) 題材について

自立活動においては、児童の実態に即した小集団活動を行っている。さらに今年度は、たてわりの集団で活動することにより、「縦のつながり」「学級としての1つの集団」といった集団の中の一人である自分が意識できるようなグループ編成を行っている。児童については、他学年と学習することにより、上級生から下級生への譲り合いや言葉かけ、それをお手本とする下級生の姿が見られる場面があった。

本題材では、同じ場面でも、受け取り方(考えや感じた気持ち)の違いによって次の行動が異なっていくことに気付いていく。日常生活の中で友達との行き違いが起きた時に、さまざまな受け取り方があることを知ることで、相手の気持ちを受け入れる土壌作りをしていきたい。

本時では、「受け取り方によって前向きな気持ちになる」ことを学ぶ。学校生活でありそうな場面を提示する。相手が言ったことを心の中でどう感じたかを考え、同じ状況でも前向きになれたり、なれなかったりすることを学ぶ。気持ちの違いによって、次の行動が異なってくるということを理解し、気持ちよく次の場面に繋げていけることができるよう、意識付けをしていきたい。

(2) 指導計画

時数	学習内容	学習のねらい
1	「気持ち大集合!」	・気持ちを言葉で表現し、いろいろな気持ちがあることを知る。
2	「気持ちさがし」	・一つの場面でも、いろいろな気持ちが生じることを知る。
3 本時	「気持ちのひみつ」	・感じ方、受け取り方によって前向きな気持ちに切り替える。
4	「いらいら、どきどき、どうしよう?」	・自分に合った解決策を選び、対処法を見付ける。

(3) 児童の実態

情緒学級は主に情緒面に課題がある児童(自閉症スペクトラム・ADHDなど)が中心となっているが、実態は多岐にわたっている。

今年度こもれび学級は、小集団活動を3つのたてわりのグループに分け活動を行っている。②グループは、2年生3名、3年生2名、6年生2名の児童で学習を進めている。「人との関わりが苦手」「我慢することが苦手」「気持ちのコントロールがうまくできない」「自分の気持ちを伝えることが苦手」「落ち着いて話を聞くことができない」などの実態がある。できないことがあると途中で投げ出してしまったり、自分の思い通りにならないと不機嫌になったり、自分のやりたいことばかり優先してしまったりするなど、感情をコントロールできない児童が多い。小集団活動などでの学習を通して、仲良く遊ぶために大切な事を学んだり、相手の気持ちを考えて行動することを学んだりしているが、まだ課題は多く残っている。このような現状を踏まえ、こもれび学級では、少人数指導、小集団活動、学級支援の学習形態で、これらの課題解決のための支援を行っている。

2 研究との関わり

本校の研究主題「学び合いを通して自分のよさに気づき、よりよく生きようとする子供の育成」には障がいのあるなしに関わらず、「一人一人の違いを受け入れ尊重することの大切さ」を理解し、その心を育てていきたいという願いが込められている。

この研究主題を受けて、本学級では、自己肯定感を育みながら、自己認知力・他者理解力・コミュニケーション力を高め、児童が互いに成長し合える基盤を作っていきたいと考える。

本学級の児童は、障がいの程度や育ってきた環境などにより、社会性の獲得に何らかの困難さを抱えており、集団生活の中で自然に社会的スキルを獲得することができないことが多い。このことの改善のためには、必要な社会的スキルを年齢に応じて積極的に学習する必要があることから、小集団活動や個別の指導場面でソーシャルスキル獲得のための支援のあり方や方法を研究し、実践している。

以上のような児童の実態を受けて、課題である「コミュニケーション能力」と「自己統制（セルフコントロール）力」の向上のための支援を計画的に行っていきたいと考えている。

* 自立活動で学習する内容と道徳的实践力との関わり

① コミュニケーションの基本である「あいさつ」に関すること

(あいさつの言葉、表情、態度、場面や人に応じたあいさつ、など)

【道徳の内容項目 B 人との関わりに関すること（礼儀）に関連】

② 「自己認知」に関すること

(自分の体や生活を振り返る、自分の体のケアの仕方、自己紹介の仕方、自分の好きなこと、自分のよさを見つける、自分のことを伝える、など)

【道徳の内容項目 A 自分自身に関すること（節度・節制）（個性の伸長）に関連】

③ 「相互理解のための言葉・表現」に関すること

(ふわっと言葉とチクッと言葉、アサーティブな表現、自分の気持ちを伝える言い方、気持ちよい言葉遣い、高学年らしい言葉遣い)

【道徳内容項目 B 人との関わりに関すること（親切・思いやり）（友情・信頼）（礼儀）に関連】

④ 「相互理解のための気持ち認知」に関すること

(いろいろな気持ち、表情に表れる気持ち、隠れている気持ち、気持ちと行動、前向きな気持ち、など)

【道徳内容項目 A 自分自身に関すること（正直・誠実）に関連】

【道徳内容項目 B 人との関わりに関すること（親切・思いやり）に関連】

⑤ 「セルフコントロール/セルフマネジメント」に関すること

(ルールを守る・我慢する必要性、怒りを抑える方法、感情に対する対処方法、チャレンジすることの大切さ、自分を客観的に把握する、自己受容、など)

【道徳内容項目 A 自分自身に関すること（善悪の判断、自律、自由と責任）（正直・誠実）に関連】

⑥ 「相手を大切にしたいコミュニケーション」に関すること

(伝え方、聞き方、助けの求め方、協力の仕方、質問の仕方、提案の仕方、頼み方断り方、褒め方、配慮の仕方、共感することなど)

【道徳内容項目 B 人との関わりに関すること（親切・思いやり）（友情・信頼）（礼儀）に関連】

3 本時の学習

(1) 本時の目標

・気持ちの切り替え方について考える。

【自立活動内容区分3 人間関係の形成(3) 自己の理解と行動の調整に関すること】

【道徳内容項目A(主として自分自身に関すること)(4)】

(2) 本時の個別目標と必要な支援 指導・支援(評価)



(3) 本時の展開 (3/4)

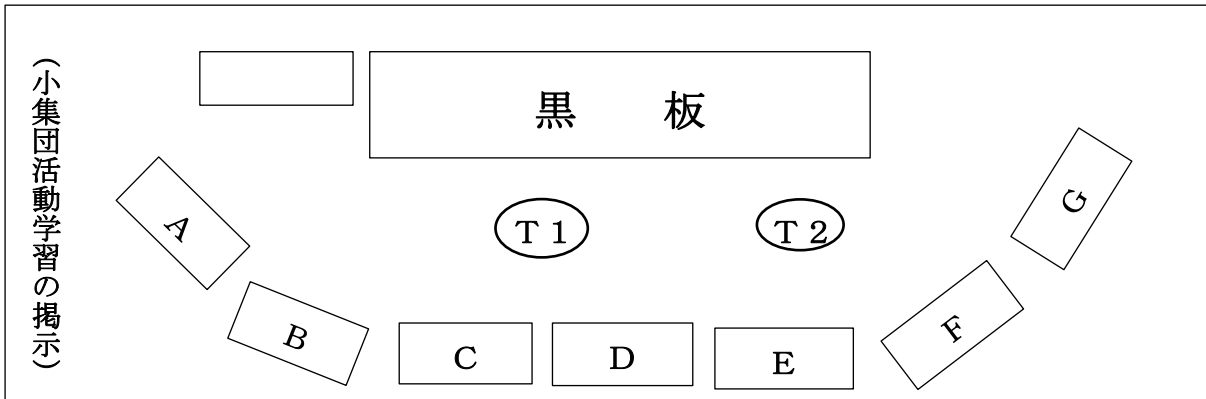
	児童の学習活動	教師の関わり	●支援の工夫 □評価
導入 10分	1 あいさつ 2 ウォーミングアップ ・ジェスチャーゲーム 3 前時までの学習を振り返る。 ・前時の振り返りをする。	・問題を提示する。 1 何を食べているか。 2 何をしているところか。 3 どうしておこっているのか。 ・前時までの活動を掲示物などを使って確認する。	●落ち着かない児童には、学習に向かえるよう気持ちの切り替えを促す。
展開 25分	4 本時の学習のめあてを知る。 5 本時の活動内容を知る。 6 ①掲示物にある場面を見て、どんな気持ちになるかを考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> 場面 ・「あそぼうよ。」 ・「あそべない。」 </div> ・がっかりする。 ・さみしい気持ちになる ⇒前向きになれない気持ち ②前向きな気持ちになれる『心の中』の考え方はないか話し合う。 ・習い事があるのかな。 ・じゃあ仕方がないな。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 気もちの切りかえ方について考えよう。 </div> ・本時の学習に見通しを持たせる。 ・場面設定を確認をする。 ・前向きな気持ちか前向きになれない気もちかを確認する。 ・一つの場面でも考え（心の中）によって行動が変わっていくことに気付かせる。	●学校生活の題材を掲示する。 ●話している相手の方を見て、反応しながら聞くように言葉かけをする。 ●がっかりメーターを使い、気持ちを視覚的に表現させる。 ●自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちも大切にしよう促す。 ●困っている児童にアドバイスを する。 □自分の気持ちを表現することができたか。【ワークシート】 □自分の考えを友達に伝えることができたか。【交流】 ●発表したことを板書していく。
	7 個人学び 前向きな気持ちになる考え方を 見つけて書こう。 [ワークシート]	・記入の仕方を確認する。 1 あいさつをしたら無視をされた 2 話しかけたら怒った 3 手伝うよと言ったら、断られた	
まとめ 10分	8 ペア交流 ・相手の考えを聞いて、前向きな気持ちになれたら、相手のシートにシールをはる。 9 全体交流 自分が考えた気持ちを発表する。	・交流の仕方を確認する。 ・場面ごとに発表させる。	●学習でわかったことや気付いたことなどを書くよう言葉のヒントを与える。 □自分の受け取り方によって行動に違いがあり、考え方を変えていくことで気持ちが切り替えられることについての理解を深めることができたか。 【振り返りシート】
	10 本時の学習をまとめる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 考え方によって、前向きな気持ちにしていけることができる。 </div>	・次時の内容を知らせる。	
	11 本時の活動について、振り返りシートに記入する。 ・発表する。		
	12 次時の見通しをもつ。		

*主に、「教師の関わり」はT1、「支援の工夫」についてはT2の動きや役割について記載した。

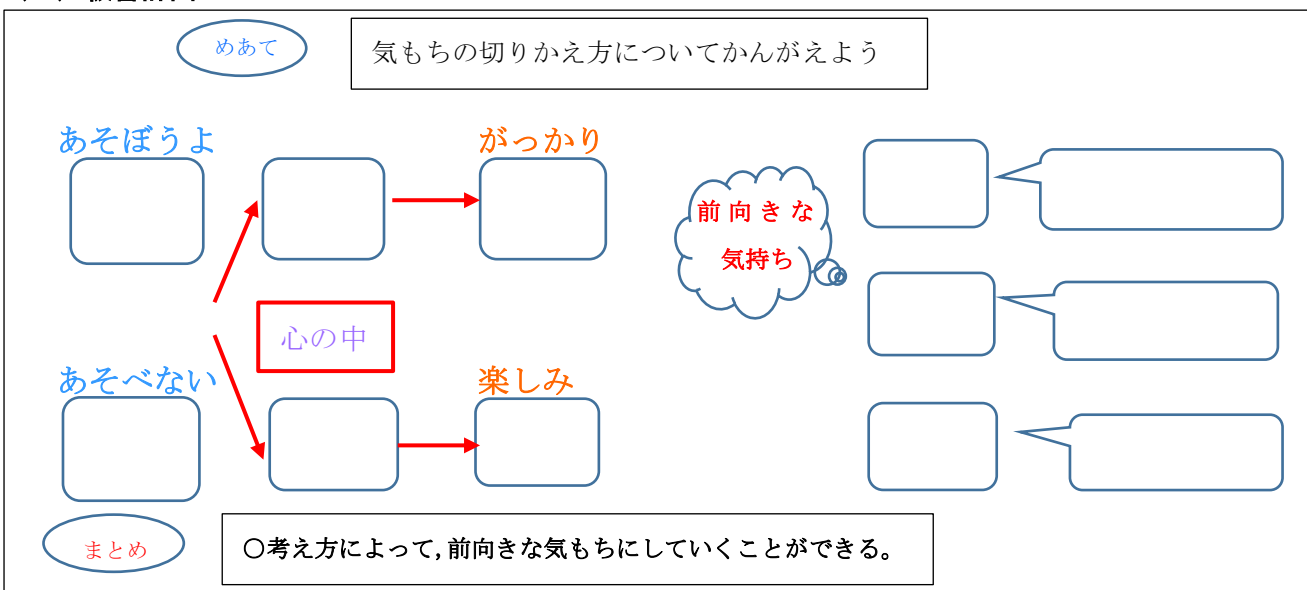
(4) 本時の評価

・気持ちの切り替え方について考えることができたか。

(5) 教室配置図



(6) 板書計画



(7) ワークシート

前向きな考え方をみつけよう！

名前 ()

あいさつしたのにむしされた。

シール

話しかけたらおこっていた。

シール

「てっだうよ。」と言ったらことわられた。

シール